

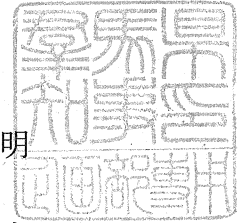
設置の趣旨等を記載した書類 別紙資料

資料 1	群馬県からの要望書	37
資料 2	類と教育プログラムの構成と養成する人材像	39
資料 3	学部と大学院における教育課程の編成 (類と教育プログラム)	41
資料 4	教育課程の編成 (共通科目と専門科目)	43
資料 5	具体的な科目設定 (物質・環境類)	45
資料 6	具体的な科目設定 (電子・機械類)	47
資料 7	教育プログラムの教育内容と教育組織ごとの担当する学修領域	49
資料 8	国立大学法人群馬大学教職員就業規則	51
資料 9	学生定員数	67
資料 10	群馬大学理工学部卒業による資格取得一覧	69

企第306-23号
平成31年1月28日

国立大学法人群馬大学長
平塚浩士 様

群馬県知事
大澤正明



食料品製造を推進できる人材の育成及び研究開発に関する要望書

貴学におかれましては、本県に立地する国立大学として、地域の知の拠点、地域の教育、医療を担う中核となり、活力ある地域社会の創造、産業の発展、医療福祉の向上に寄与されるとともに、豊かな人間性と高度な専門知識を兼ね備えた優れた人材を育成されていることに対して、心より敬意と感謝を表します。

さて、本県は、古くから富岡製糸場をはじめとする絹産業や中島飛行機を核として航空機産業が発展し、技術力の高い中小企業が育まれた「ものづくり立県」であります。

現在、本県経済は、製造品出荷額の約4割を占める輸送機器（自動車産業）に大きく支えられておりますが、グローバル化や経済社会情勢の変化が急激に進む中で、将来に渡って安定的に発展していくためには、環境の変化に柔軟に対応していく必要があります。

本県の産業経済分野における基本計画である群馬県産業振興基本計画では「雇用を生み成長し続ける、複数の峰を持つ"強いぐんまの産業"をめざす」ことを掲げており、製造品出荷額で輸送機器に次ぐ産業である食料品製造業をはじめとする多くの成長産業で構成されたしなやかで強い産業構造を構築していくことが重要であると考えております。

つきましては、本県の食料品製造の推進に資するよう、以下の人材育成及び研究開発について特段のご配慮を賜りますよう、要望いたします。

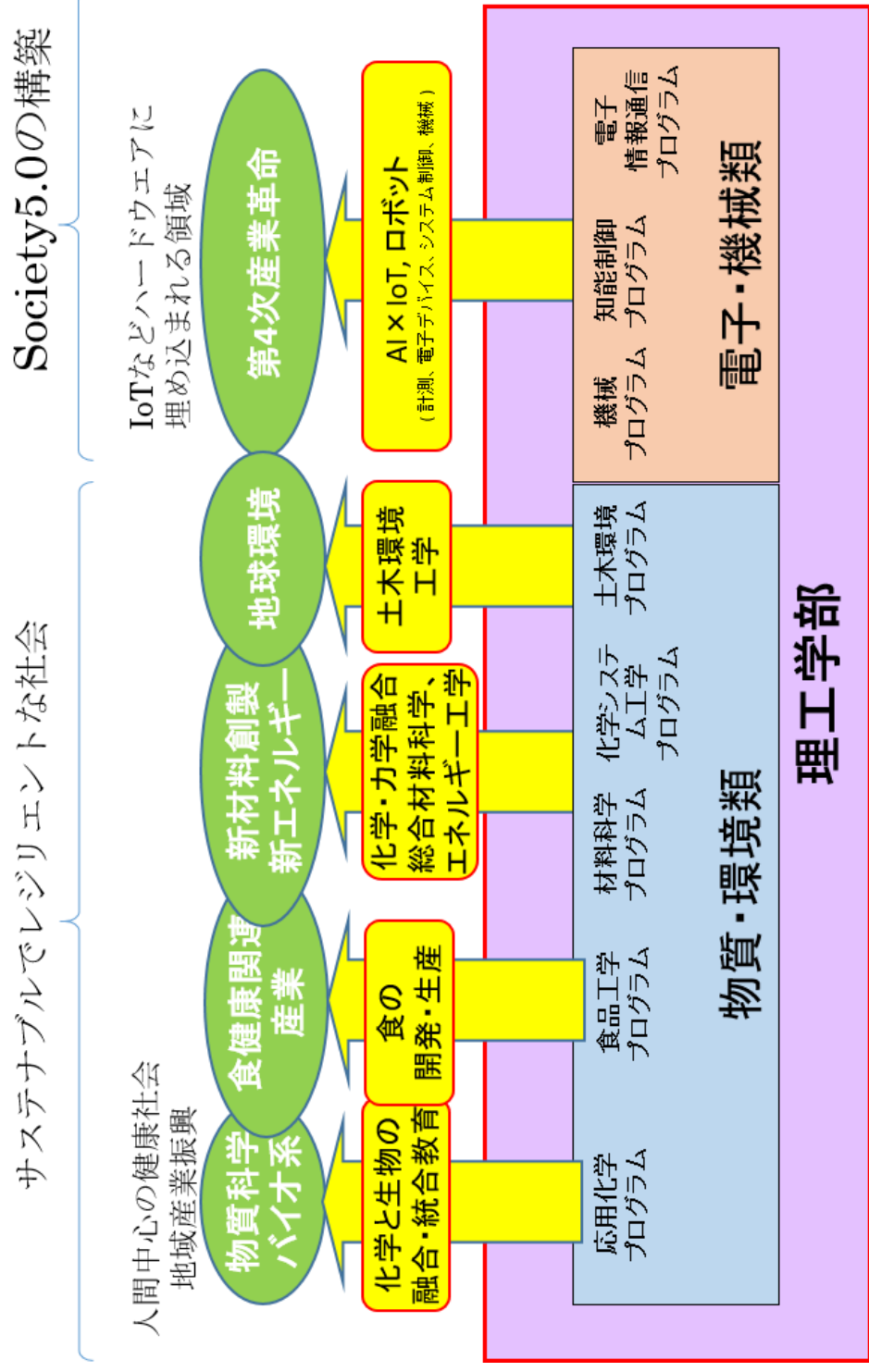
1. 県内中小企業を支える人材の育成

- ・機能性を持つ食品開発に必要となる化学・生物学的知識を持つ高度研究人材の育成
- ・消費者の安全・安心志向に対応した食品製造（加工、殺菌、保存、包装、省力化技術等）の知識・技能を持つ専門的・実践的なものづくり人材の育成
- ・業界の最新動向から製造、販売までの知識・技能が習得可能なリカレント教育としての体制充実

2. 県内中小企業の商品力向上に向けた研究開発

- ・県産農畜産物等が持つ機能性成分の研究
- ・付加価値の高い商品の事業化に向けた研究シーズの継続的な創出
- ・機能性食品等の開発促進に向けた臨床試験の実施体制の充実
- ・県内中小企業の商品化に向けた技術支援の強化

類と教育プログラムの構成と養成する人材像



教育課程の編成（共通科目と専門科目）

